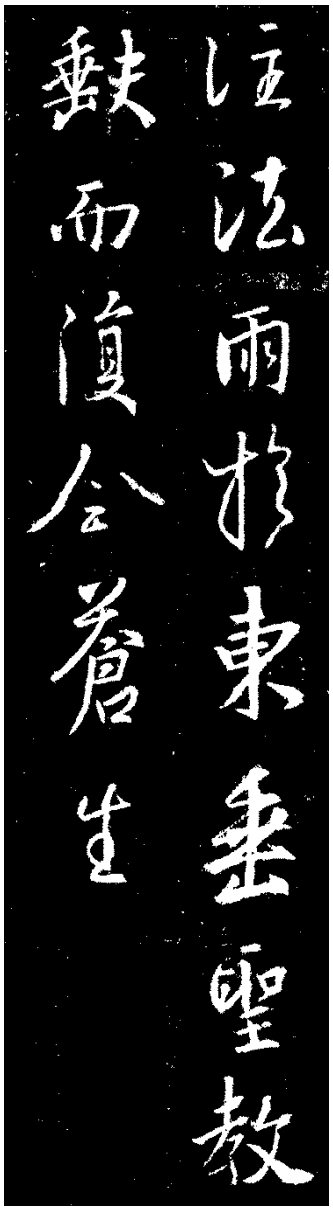
令和七年前期　書究文化書芸院検定課題

課題４　西狭頌

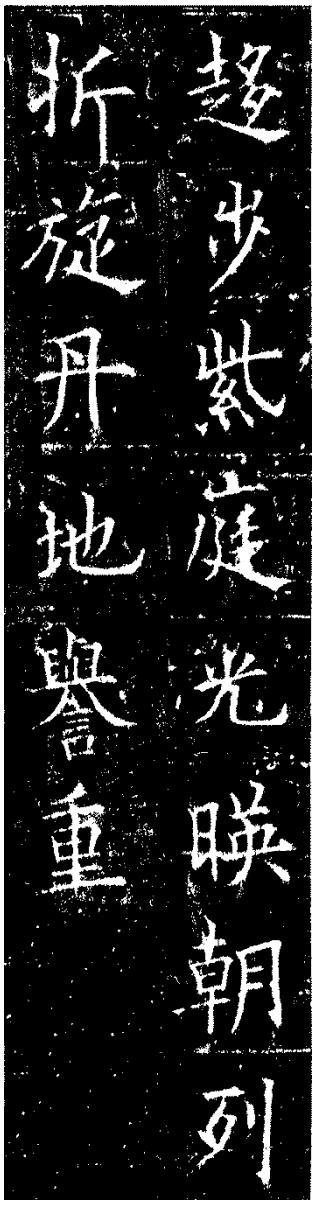
【読み】漢の武都太守・漢陽阿陽の李君（りくん）、諱（いみな）は翕（きゅう）、字（あざな）は

課題３　集字聖教序



【読み】法雨を東垂に注ぐ。聖教は缺（か）くるも全（まった）きに復し、蒼生（そうせい）は

課題１・２　皇甫府君碑



【読み】紫庭（してい）に趨歩（すうほ）し、朝列（ちょうれつ）に光映（こうえい）し、丹地（たんち）に折旋（せつせん）して、誉（ほまれ）は（周行（しゅうこう）に）重し。

出品券はWEB競書誌４月号に掲載しております。
貼り忘れのないようお願い致します。

検定料振替口座　02750-5-21888
書究文化書芸院

	部門	最高位	作品	課題	検定料	締切
漢字部	一科	特級まで認定	半紙１点	課題１	1,650円	6月2日
	二科	初段まで認定	半切１点	課題２	3,300円	
	三科	四段まで認定	半切２点	課題２・３	4,950円	
	四科	師範まで認定	半切３点	課題２・３・４	6,600円	

仮名部	一科	特級まで認定	半紙たて行数自由１点	課題５	1,650円	6月24日
	二科	二段まで認定	一科課題と課題６を半紙ちらし書き	課題５・６	3,300円	
	三科	四段まで認定	半切２点	課題５・６	4,950円	
	四科	師範まで認定	三科課題と半懐紙（文自由）１点	課題５・６ 半懐紙作	6,600円	
硬筆部	一科	特級まで認定	Ｂ５判たて西洋紙たて書き	課題７	1,650円	
	二科	二段まで認定	一科課題と暑中見舞はがき（官製）	課題７・８	3,300円	
	三科	四段まで認定	二科課題と400字詰原稿用紙	課題７・８・９	4,950円	
	四科	師範まで認定	三科課題と実用語句	課題７・８・９・10	6,600円	
実用部	一科	特級まで認定	半紙½たて書き楷（上段）行（下段）に	課題11	1,650円	
	二科	二段まで認定	一科課題と暑中見舞はがき（官製）	課題11・12	3,300円	
	三科	四段まで認定	二科課題とＢ４毛筆賞状（市販実物）	課題11・12・13	4,950円	
	四科	師範まで認定	三科課題と実用語句	課題11・12・13・14	6,600円	
詩文書部	一科	特級まで認定	半切⅓	課題15	1,650円	
	二科	二段まで認定	全紙⅓	課題15	3,300円	
	三科	四段まで認定	全紙⅓を２点	課題15・16	4,950円	
	四科	師範まで認定	三科課題と半切（たて・よこ・自由）	課題15・16・17	6,600円	

令和七年前期検定要項

▼月例で学んだ成果を計ることができます。実力相当の段級に認定され、飛び級で昇段昇級することもあります。

▼各部には一科から四科まで部門があります（前ページ参照）。「〇〇まで認定」というのは、その科での最高位を示していますので、たとえば漢字部初段の人が二科を受けると、二科では初段が最高位ですから、留位となってしまいます。この場合は二科ではなく、三科以上を受けた方が良いことになります。受験者は現段級より上のどの科を受検しても構いません。

▼漢字部、仮名部、硬筆部、実用部、詩文書部はそれぞれ別部門ですので、検定料は別々に納付下さい。結果の認定証も別々に授与されます。

※検定結果についての異議の申し立てはできません。

検定課題お手本

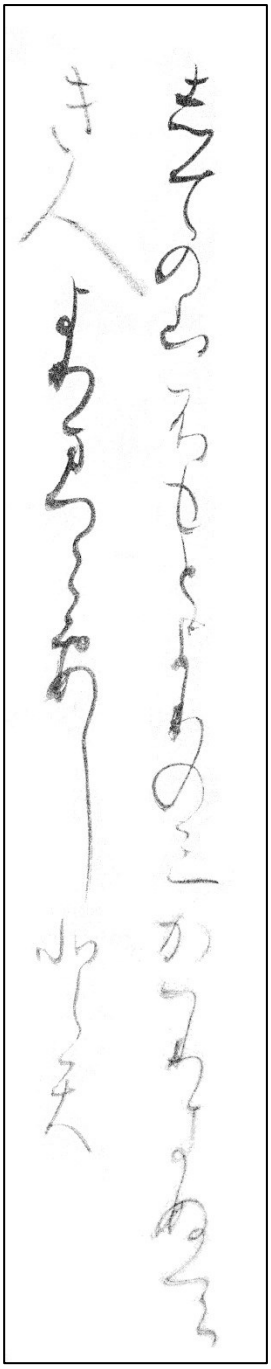
申し込み締切日　3月30日

各検定課題の手本をご用意しております。

- 半紙手本　一点　七七〇円
- 半切手本　一点　三、八五〇円
- 半懐紙手本　一点　三、三〇〇円
- 実用手本　一点　五五〇円
- 硬筆手本　一点　五五〇円
- 詩文書手本　半切 1/3　一点　一、六五〇円
- 詩文書手本　全紙 1/3　一点　三、三〇〇円
- 詩文書手本　半切　一点　三、八五〇円

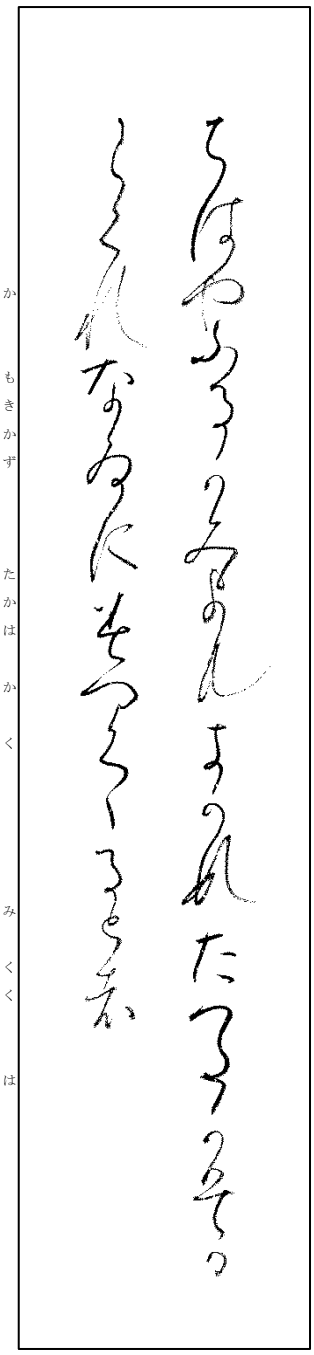
受検する科を確認の上、お申込み下さい。
漢字部お手本は順次発送、それ以外のお手本は四月下旬頃に発送を予定しています。

課題５　関戸本古今集



【読み】志ての山　不もとよ利の三　かへ利支ぬ　つらき人よ利　万つこ要し登天

課題６　高野切第二種



【読み】ちはやふる　可みよ无支可数　たつ多可盤　可ら久れなゐに　美つ久、ると者

漢字部	課題１	皇甫府君碑「折旋丹地」	4字
	課題２	〃　「趍步紫庭。光暎朝列。折旋丹地。譽重」	14字
	課題３	集字聖教序「注法雨於東垂。聖教缺而復全。蒼生」	14字
	課題４	西　狹　頌「漢武都太守漢陽阿陽李君。諱翕。字」	14字
仮名部	課題５	関戸本古今集「志ての山　不もとよ利の三　かへ利支ぬ つらき人よ利　万つこ要し登天」	
	課題６	高野切第二種「ちはやふる　可みよ无支可数　たつ多可盤 可ら久れなゐに　美つ久、ると者」	（３頁に掲載）
硬筆部	課題７	真中の　小さき黄色のさかづきに 甘き香もれる　水仙の花	―木下利玄―
	課題８	暑中見舞い（官製はがき）１枚。宛名自由。硬筆使用。	
	課題９	400字詰め原稿用紙１枚。文自由。硬筆使用。	
	課題10	日常実用語句をB4版横西洋紙に縦書き１枚。字数自由。硬筆使用。	

実用部	課題11	「最高気温・産地直売・一部始終・古典臨書」を楷行の二体で毛筆使用。	
	課題12	暑中見舞い（官製はがき）１枚。宛名自由。毛筆使用。	
	課題13	賞状（B4判横の賞状用紙たて書き）１枚。文自由。毛筆使用。	
	課題14	日常実用語句をB4判横の西洋紙にたて書き１枚。字数自由。毛筆使用。	
詩文書部	課題15	鈴蘭や壁を飾れる描更紗	―参考古典＜祭姪文稿＞― 川村黄雨　句
	課題16	燈臺の頂には氣付かれず 緑の光が點（点）される。	―参考古典＜温泉銘＞― 伊藤静雄　詩 「夕の海」（抄）
	課題17	無限の虚空　濃青の深みゆ壓（圧）し来る 神秘の威力と　大いなる畏怖よ。	―書体自由― 内海泡沫　詩 「高嶺の花」（抄）